

「厚田区」および「浜益区」の 町名変更のお知らせ

令和8年4月1日から、「厚田区」および「浜益区」の町名が以下のとおり「区」を除いた町名に変更となります。

厚田区・浜益区にお住まいの皆さまの必要な手続きについては、各世帯へ「町名変更のしおり」を10月下旬から配布しますので、ご確認ください。



▲市HP

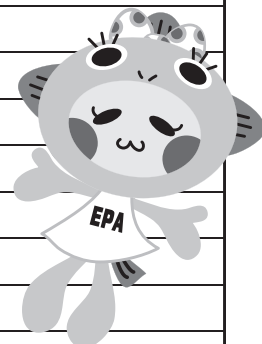
厚 田 区

変更前	変更後
厚田区厚田(あつた)	厚田
厚田区濃昼(ごきびる)	厚田濃昼
厚田区安瀬(やすすけ)	厚田安瀬
厚田区別狩(べつかり)	厚田別狩
厚田区小谷(こたに)	厚田小谷
厚田区押琴(おしこと)	厚田押琴
厚田区古潭(こたん)	厚田古潭
厚田区嶺泊(みねとまり)	厚田嶺泊
厚田区望来(もうらい)	厚田望来
厚田区聚富(しっぷ)	厚田聚富
厚田区虹が原(にじがはら)	厚田虹が原



浜 益 区

変更前	変更後
浜益区浜益(はまます)	浜益
浜益区群別(くんべつ)	浜益群別
浜益区幌(ぼろ)	浜益幌
浜益区床丹(とこたん)	浜益床丹
浜益区千代志別(ちよしべつ)	浜益千代志別
浜益区雄冬(おふゆ)	浜益雄冬
浜益区川下(かわしも)	浜益川下
浜益区毘砂別(びしゃべつ)	浜益毘砂別
浜益区柏木(かしわぎ)	浜益柏木
浜益区実田(みた)	浜益実田
浜益区御料地(ごりょうち)	浜益御料地
浜益区送毛(おくりげ)	浜益送毛
浜益区濃昼(ごきびる)	浜益濃昼



200回
特別企画

いしかり博物誌



この26年の間にも、いろいろな変化が起きたり、新たな発見が追加されてきました。いちばん大きな変化は、やはり2005年の石狩市・厚田村・浜益村の合併でしょう。南北約70kmに伸びるまちとなり、旧石狩市で「いちばん高い山」は阿蘇岩山頂そぼの標高約360m地点(第17回)でしたが、今は群別岳(1376m)です。

「いしかり博物誌」200回で取り上げられた地域は、南は花川から北は雄冬まで。市全域をカバーしています。さらには市内だけに収まりません。外国の先住民文化との比較(第47回)や1911年のトリノ万博(第113回)、地球規模の気候変動(第29、93回)、地球外生命?(第133回)まで、石狩を見る視点は世界、宇宙にも広がります。

* * *

海や空に目を転じると、2001年にはマイナス23.1℃と石狩での観測史上3番目に低い気温を記録(第29回)しましたが、その後は暖かい年が増えました。本来は亜熱帯に暮らす貝やクラゲが流れ着いたり(第93、194回)、ジンベエザメが現れたことも(第129回)。

連載開始時には発掘調査の真つ最中だった石狩紅葉山49号遺跡は、2003年に調査終了。出土遺物は9万点以上となり、その一部が石狩市の文化財に指定されました(第142回)。チョウザメの神様、石狩弁天社と金龍寺の鯨様像(第15回)は北海道指定文化財となり、黄金山は国の名勝になりました(第101回)。

* * *

石狩って、どんなところ? その答えとして、市民の皆さんに知っていてほしい石狩市の自然や歴史を紹介する「いしかり博物誌」。

1999年に連載スタートし、今回、第200回を迎えました。

石狩の自然や歴史は、200回でもまだまだ語り尽きません。調査や資料収集はこれからも何十年、何百年と続き、知られざる石狩の姿や新たな発見を、皆さんに紹介していきます。

(志賀健司)



図文化財課 いしかり砂丘の風資料館 ☎62・3711 ※火曜休館